

韓国文化論Ⅱ

科目ナンバリング ARS-118

選択 2単位

河崎 啓剛

1. 授業の概要(ねらい)

朝鮮半島、特に韓国に対する理解を深めることがこの授業の目的である。映像資料や音楽等のメディアも適宜利用しながら、その歴史・社会・文化に対する理解を深めていく。社会や文化をきちんと理解するためには、歴史に対する理解は欠かせない。今年度(Ⅲ及びⅣ)は古代から近代までの「歴史」を扱うが、現代韓国の社会・文化とのつながりや日本との関わりなどに注目しつつ、その概観を把握していく。

2. 授業の到達目標

①韓国の歴史・社会・文化について基礎的な事を理解し、説明できる。

②韓国を客観的に観察し、昨今の情報の氾濫の中でもきちんと取捨選択ができるようにする。

3. 成績評価の方法および基準

平常点:40% テスト:60%(テストで一定以上の点数を取らなければ落第とする)

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書は使用せず、必要に応じて資料を配布する。

5. 準備学修の内容

授業開始前に前回の授業内容を確認すること。

6. その他履修上の注意事項

①欠席をしないこと(3分の1以上欠席した場合、特別な事情がない限り、評価の対象とならない。)

②積極的に授業に参加すること。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
 - 【第2回】 朝鮮半島の地理・歴史概説
 - 【第3回】 朝鮮王朝史概説
 - 【第4回】 各種映像資料①
 - 【第5回】 豊臣秀吉の「朝鮮出兵」
 - 【第6回】 各種映像資料②
 - 【第7回】 朝鮮通信使
 - 【第8回】 各種映像資料③
 - 【第9回】 日本の「脱亜」と日韓併合
 - 【第10回】 日本の植民地支配と独立運動
 - 【第11回】 各種映像資料④
 - 【第12回】 第二次大戦後の日本と朝鮮半島
 - 【第13回】 各種映像資料⑤
 - 【第14回】 南北関係
 - 【第15回】 まとめ・試験
- *進度や内容は変更、調整することがある。